の研究を行い、積極的に県下 嚥下リハビリ部門は咳や誤嚥

に誤嚥性肺炎の予防を啓蒙

厚生労働省は2023年2

ロナ2019 の通信

その努力の結果でしょう。

(おります。 今回の好成績は、

B F į B

の誘因にならないような配慮 をして欲しいものです。 ように、コロナに限らず、 や発熱の治療では誤嚥性肺炎 本紙の先月号でも言及した

の死亡者が全国平均で22人 新潟県が0. 同日の都道府県別の死亡率は 補って民間の調査グループは 1, 579人と報じ、それを 6, すなわち、感染一万人当たり 低いことを示した(下図) スの感染者累積数33. 月18日の新型コロナウイル 感染者の死因の多くが誤 と全国で最低でした。 に対して、新潟県では同9人 政府分科会のコメントでは 693人中の死亡者は7 09%と極端に 07

死亡率 (対感染者数) 2023年2月18日 0.35 10 20 30 40 0.3 0.25 0.2 0.15 0.1 0.05 山形 石川 広島

学の呼吸器・感染症内科講座

や総合リハビリセンター摂食

嚥**性肺炎**とのこと。

新潟大

牛もつがたっぷり入ったもつ鍋 回は宴会料理と言うことで国産 のこぢんまりとしたお店です。 5席と小上がりのお座敷が4点 真鱈白子が入った「痛風鍋」 ている方で、お店はカウンター いう贅沢なお鍋なのですが、 しちらの名物はあん肝、 牡蠣、

店主は経営者団体でご一緒し



店でした。 腹パンパン。今度は宴会ではな いなあと思った雰囲気の良いお くゆっくりカウンターで飲みた



そしてここで終わらないのが

飲んだのか。皆さんも飲み過ぎ そしてチリの赤ワインで今夜の 締めですがいったい何杯お酒を なかの盛辺ふりでいい感じです。 知り合いが何人も来店し、 お願いしました。 には注意しましょうね。 座っていると なか

しょっぺ店の楽しみ方39 2面 1面 「思い出のぐっすりーぷ」 「コロナの死亡率は新潟が少ない」 「気になる医療ニュース」 須田会長のしょっぺ店の楽しみ方」

Vol.14No.2

SAS支援会

〒951-8061 新潟市中央区 西堀配の5番町 こうの歯科 (担当:河野) 025-226-6050

「古町はしご酒編」 支援会会長 須田 和行

新潟バーベキュー協会会長

ぷりのもつを久しぶりに味わい 本酒を飲みながらプリプリ脂たっ が登場しました。生ビール、

日

お刺身、カリッと揚がっ

目な会合後の懇親会と言うこと 久しぶりに古町ではしご酒を楽 で東堀8番町のビル1階にある 「創作居酒屋あさや」さんにお んで参りました。今回は真面 はしご酒の好きな私ですが、



取り、 理は頼めず、今回は定番の干し うん、日本酒後の白ワインはお 目はお口直しに坂内小路のワイ ぶどうとナッツの盛り合わせを さすがにお腹いっぱいなので料 口をスッキリさせてくれますね。 されたばかり。 フードメニューもリニューアル ンバー「ガブビーノ」さんへ。 こちらの代表もお仲間で、 したチリの白ワインを頂きます。 まずはサッパリキリッと カウンターに陣 最近

飲んべえの悪いところで、 軒



医療法人康治会 片平歯科クリニック

www.katahiradental.com/

お腹に入れたらもう大満足でお た 鶏唐揚げに仕上げの雑炊まで

ります。これに対しては辛

突然死症候群の原因にもな

が続きます。

有名な乳幼児

の間は気道が細く、

無呼吸

窒息をおこしやすい状態

The Good Sleep Archives (13)

2023年2月号

· 「肥満」、それと「低位舌」 原因は「顎の骨格」 小児の睡眠時無呼吸

第3巻2号(2012年2月)

の危険がある場合は気管内 かありませんが、 抱強く下顎の成長を待つし (呼吸の管を入れる) もし生命

> が適応になります。 桃肥大です。

これには手術

手術に伴う危険が大きい場

合は、

小学校の高学年まで

呼吸症候群を取り上げます 問題になります。下顎の成 およそ1年くらいで成長が 生まれた直後には下顎は小 さくて、後退しております に未熟児で生まれた場合に は上顎よりも遅いので、 いつきますが、 それまで

小児の睡眠時無呼吸

注意欠陥多動性障害 アデノイド顔

手術の危険性

因になります)

行動面

ないのか。

行政は医療の地域

格差を隠さないで欲し

い

の経験がない医師も「

ピークに達する咽頭口蓋扁 次の原因は5歳くらいで

の危険がある場合は気管内 があります。 ていると、肥満・低身長: 挿管や気管切開もあります るため小児には使えません しないで待ちますが、 人ピースは顎の成長を妨げ 人用のシーパップやマウ さて治療しないで観察. (将来の睡眠呼吸障害の 漏斗胸、アデノイド 通常は、

今号は子どもの睡眠時無

ります

か気管切開をすることにな

待たなければならない

今月の気になる医療ニュース

4029 脳のビタミンD濃度、認知症リスクとの関連認める

4030 睡眠薬使用時の禁酒指導、課題と工夫

4031 歯突起骨折後の偽関節の3つの危険因子を同定

4032 肝線維化やNASH、1週間の総飲酒量が関連

4035 アルコール摂取と白内障リスクとの関連が明らかに

4037 「霊が見える」が主訴の患者に対応して感じたこと

4038 非侵襲的脳刺激が統合失調症の陰性症状を有意に改善か

4039 患者を介護する「家族介護者」に医療・介護専門職のケアが必要

4040 大腸がんが後4週で再発リスク層別化が可能に

4041 睡眠障害あるうつ病患者、他の精神疾患のリスク高い

4042 睡眠障害に対する新たな治療薬

4044 過活動膀胱の腓骨eTNM、有効で有害事象少ない

4047 抗菌薬使用は年齢にかかわらず炎症性腸疾患の危険因子

4048 冠動脈硬化症の進行、運動量より運動強度との関連強い

4049 小児死亡例の積極的疫学調査が行われた理由

4050 3-18歳への抗精神病薬処方が20年で増加

4051 人には聞こえない音が食後の血糖上昇を抑える可能性

4052 抗ヒスタミン薬、こんな処方していませんか? (後編)

4053 抗ヒスタミン薬、こんな処方していませんか? (前編)

4054 小児の脳の発達傾向、ソーシャルメディアのチェック頻度により差

4056 とろみ付き炭酸飲料の「炭酸」に、嚥下改善効果があると判明

4057 抗にスタミン薬処方の注意点――薬剤師の視点から(前編)

4059 加熱式たばこ使用が新型コロナ感染と病態悪化に影響

4060 入院中の男児をSIDSで亡くして思うこと

4061 軽度認知障害の新規スクリーニング法を開発、5分程度で測定

4062 不適切な換気でCOVID-19エアロゾル感染拡大、クラスター発生

4063 高リスク患者でも抗血栓薬を減らして良いのか?

4064 メトホルミンが糖尿病患者のOA進行を抑制か

4065 デュピルマブはアレルギー性鼻炎の症状改善に有効か

4066「たかが睡眠薬の変更」ではない、寄り添った診療で笑顔に

4067 頭部外傷1回で全死因死亡リスク上昇

4068 1回の頭部外傷でも認知症リスク上昇の可能性

4069線維化NASH診断のFASTスコアは診断確度良好

4070 世界の肥満者の推定7割以上にNAFLD

4071 小児睡眠呼吸障害、鼻腔内生食とモメタゾンの効果同等

4072 脳動脈瘤治療の大転換点? flow diverterの適応拡大

4073 抗うつ薬、慢性疼痛に対する有効性は?

4075 超高強度の運動で冠動脈石灰化が進む

4076 高齢者の血圧変動に認知症リスクとの関連認める

ります。 さによっては、手術を早め とになります。 学習障害が現れることがあ では注意欠陥多動性障害や ノやマウスピースを使うこ 犠牲を覚悟でシーパ これらの障害の強 洵) が誤嚥を誘発する危険がある うに咳止めや解熱消炎鎮痛剤 しとを承知いただきたい。 なります。 ナ2019を診療すること 類の見直しで嚥下リ

潟大学が前世紀より着手 編 後 本紙のホームページを立ち上げました

http://sleptwell.jp

① 睡眠時無呼吸症候群を取り巻く病気 (バックナンバー)

- ② コミック『いびき症三兄弟』(バックナンバー)
- ③ 気になる医療ニュース
- 睡眠に関する耳より情報や豆知識

BEC

DESC (

BC

- ⑤ 日本睡眠学会認定機関の紹介



こばやし内科 れい人医精神センター 医科部

内科·歯科

前号で触れたよ

小林義昭 河野正己

中央区紫竹山6 025-246-5600

こうの歯科

性肺炎の予防が全国に広がら

染から多くの人命を救ってお

|性肺炎を予防しコロナ感

う ま す。

かしなぜ、

嚥誤嚥

れ みん 医科解析センター 一解体部 歯科・口腔外科 河野美砂子 河野 茜

中央区西堀通5

025-226-6050

古町心療クリニック れいない医科機科グルーフ

心療内科·精神科 村竹辰之

中央区西堀前6 **025-224-7771**





http://sleptwell.jp http://sleptwell.jp http://sleptwell.jp http://sleptwell.jp http://sleptwell.jp http://sleptwell.jp http://sleptwell.jp http://sleptwell.jp